

分子生命機能科学専攻(半導体・バイオ融合教育プログラム) 博士課程前期

科目区分	授 業 科 目	単位数	要修得単位数	履修区分	
基 盤 科 目	融合科目	先端物質科学特別講義	2	2	必修
		【概論科目】			
		物質科学概論	2	0~4	選択
		エレクトロニクス概論	2		
	実践キャリア科目	学外実習			
		大学院共通授業科目（該当科目については、別に定める。）		0~4	選択
		職業教育特別講義	1		
	コミュニケーション科目	科学技術英語表現法	2	2	必修
		コミュニケーション能力開発	2		
		大学院共通授業科目（該当科目については、別に定める。）		0~2	選択
学術活動演習科目	海外学術活動演習				
	大学院共通授業科目（該当科目については、別に定める。）		0~2	選択	
その他	研究科共通特別講義		0~2	選択	
専 門 科 目	演習科目	分子生命機能科学セミナー	2	2	必修
	半導体・バイオ融合科目	MEMS技術	2		
		ナノバイオ融合マテリアル工学	2		
		複合センシング工学	2	8単位以上	選択必修
		生体情報処理システム	2		
		分子・バイオデバイス工学	2		
		半導体光物性	2		
		ナノサイエンス	2		
	系列科目	【1. ゲノム科学系】			
		ゲノム科学A	2		
		ゲノム科学B	2		
		【2. 細胞科学系】			
		細胞科学A	2		
		細胞科学B	2		
		【3. 生命機能工学系】			
		生命機能工学A	2		
		生命機能工学B	2		
		【4. 環境生命工学系】			
	環境生命工学A	2			
	環境生命工学B	2			
	融合・横断科目	フロンティア生命科学	2		
		フロンティア生命機能工学	2		
その他	分子生命機能科学特別講義A	1			
	分子生命機能科学特別講義B	1			
	分子生命機能科学特別講義C	1			
	分子生命機能科学特別講義D	1			
修士論文研究科目	分子生命機能科学特別研究 I	10	10	必修	
修了要件単位数			30		

履修方法

- 1 融合科目の概論科目は、4単位まで修了要件単位数に含めることができる。
- 2 大学院共通授業科目の修了要件単位への算入方法については、学生便覧に掲載の大学院共通授業科目に関する頁を参照すること。
- 3 実践キャリア科目は、4単位まで修了要件単位数に含めることができる。
- 4 コミュニケーション科目は、4単位まで修了要件単位数に含めることができる。

- 5 海外学術活動演習は、2 単位まで修了要件単位数に含めることができる。
- 6 研究科共通特別講義は、2 単位まで修了要件単位数に含めることができる。
- 7 分子生命機能科学セミナーは、4 単位まで修得することができる。
- 8 専門科目の半導体・バイオ融合科目を 8 単位以上修得すること。
- 9 基盤科目（6 単位以上 10 単位以下）、専門科目、修士論文研究科目（10 単位）を含め、合計 30 単位以上を修得し、研究指導を受けること。
- 10 第 15 条ただし書の規定により 1 年以上在学すれば足りるとされた学生は、1 年間で分子生命機能科学特別研究 I を 10 単位修得することができる。
- 11 他専攻又は他研究科等の授業科目のうち、指導教員が必要と認めるものについては、専門科目の単位とすることができる。
- 12 分子生命機能科学特別講義の積極的な受講を推奨する。